

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標	
(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校をつくります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づかれた開かれた学校をつくります。	

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		① 子どもたちの課題に即し、行事や各教科とも連携した道徳授業に取り組みます。 ② 「けが0プロジェクト」「なかよし活動」を核とした委員会活動・異学年交流等、子ども主体の生活づくりを進め、互いを思いやる気持ちを育みます。 ③ 地域や社会と関わる機会を増やし体験を通して多様な人々への共感を育みます。
担当	児童支援部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、全体的に落ち着いて穏やかに生活しています。また、何事にも一生懸命に取り組む姿勢がみられます。地域からの協力も得られており、子どもたちも地域の行事には積極的です。

しかし、次の点が課題として挙げられます。

自分に対する課題としては、「自分からすすんであいさつをすること」や、「自分に自信がなく自分の考えを積極的に話すこと」に苦手意識をもっています。

他者に対する課題としては、人の話をすすんで聞いたり、学校のきまりを守って生活することができなかつたりする傾向がみられます。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【道徳教育】行事や各教科とも連携した道徳教育の創造

- ・全学級の道徳公開授業を年1回以上実施します。
- ・行事や学級・学年活動・各教科の学習との関連を測りながら、子どもたちが自分の生活に立ち返って、互いに考えを深め合えることができるようにします。

### 【自分づくり教育】主体的な生活づくり

- ・「けが0プロジェクト」を核として委員会活動を活性化させ、委員会の提案より学校全体が取り組みます。
- ・「なかよし活動」や「クラブ活動」など6年生をリーダーとした異年齢集団活動をより自主的、意欲的にを行い、自分たちの手で学校生活をつくる実感がもてるようにします。
- ・一人ひとりが見通しをもつことで安心して自分らしさを発揮し、自分をよりよく高めていく力を育みます。
- ・子どもたちの興味・関心をもつものや必要感のあるものなど価値のある課題を設定し、PDCAサイクルで授業改善をはかります。

### 【人権教育と特別支援教育】確かな人権感覚・意識の育成

- Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級の課題の改善や個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにします。
- 必要な子どもに対して個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成します。
- 一般学級の子どもは、授業や学校行事等で個別支援級の児童と一緒に過ごすことを通して、学び合いながら相互理解を深めていきます。

### 【様々な教育の場の連携】

- 姉妹校（ムーニーボンズウエスト小学校やラドバーン小学校）と交流して、日本の伝統・文化を尊重するとともに、異文化への理解を深めるようにする。
- 地域の行事等に子どもたちが参加できる等、子どもたちの自尊感情が育つようなかかわりを推進してもらうとともに、学校の教育活動にも積極的にかかわってもらうようにします。
- どの子にも分かりやすい生活環境を考え、支援の工夫を測り、子どもが自分で、困っていることや分からないことを相談できるようにします。関係機関との連携や保護者との協力体制を構築していきます。

#### 4 各学年・教科等の具体的取組

<p>第1学年          道徳…道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むために、児童の実態や発達段階を考慮し、学習や学校行事等との関連を図りながら授業づくりに取り組む。          体験的な学習の充実…教育委員会発信の中でも大切にしている「3つのつながり」を意識し、「授業」と「人」と「学びの場」もつなぐ学びをイメージしながら進める。第1学年という学齢期だからこそ感じられることを重視し、「頭と体を使って学ぶ」を合言葉に、生活科を柱にしなが、たくさんの「ひと・もの・こと」との出会いと関わりと感動を取り入れた学びをコーディネートする。</p>	<p>第2学年          道徳…児童の実態を把握し、各教科・学校行事との関連を図りながら授業づくりに取り組み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。          地域との関わり…生活科のまち探検で、地域の様々な人と関わることを通して、自分の生き方をふり返ったり、感謝の気持ちをもって過ごしたりすることができるようにする。          体験学習の充実…野菜・虫を育てることや、小動物に触れる体験を通して、生き物を大切に育てる。また、保育園・幼稚園や1年生など他学年との関わりを充実させ、豊かな心情を育てる。</p>
<p>第3学年          道徳…児童の実態や、各教科との関連、学校行事を見ながら、資料を精選して実践する。自分も友達も大切にできる温かい集団を育てる。          体験学習の充実…植物・カイコを育てる体験を通して、生き物を大切に育てる。          30周年・ケガロプロジェクト…年間を通して、1人ひとりがめあてを意識して、学年でひとつのものを創りあげる達成感を味わえるようにする。</p>	<p>第4学年          道徳…児童の実態を把握し、各教科・学校行事との関連を図りながら授業づくりに取り組み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。          野島宿泊体験学習…1人ひとりが見通しをもって自分の役割に責任をもつ。          区音楽会…1人ひとりが主体的に取り組み、学年でひとつのものを創りあげる達成感を味わえるようにする。</p>
<p>第5学年          体験学習の充実・・・「委員会活動」「クラブ活動」「なかよし活動」等の異年齢集団での活動を通して、他者と豊かに関われるようにすると共に高学年として主体的に取り組む態度の育成を図る。          確かな人権感覚・意識の育成・・・道徳、日々の生活から良い行いの価値づけと共有、ケガロプロジェクト等、様々な角度から自分も相手も大切に育てる心を持って、自他を尊重する態度を身に付け、人権感覚を養っていく。</p>	<p>第6学年          体験学習の充実・・・「委員会活動」「クラブ活動」「なかよし活動」「運動会」等の異年齢集団での活動を通して、他者の豊かに関われるようにすると共に、最高学年として主体的に取り組む児童の育成を図る。          確かな人権感覚・意識の育成・・・道徳、日常生活などを通して、善悪の判断をつけたり、成功体験を積み重ねたりする。</p>
<p>個別支援級          体験学習の充実…宿泊体験学習や栽培活動、外食学習などの体験学習を通じて、集団の中での自分の役割を果たすことや、規律を守ることなどの社会性や実践力を身に付けていくようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日々の生活の中から自分たちの課題となる事柄について考える機会をもち、よりよい自分やクラスの姿について考える。</li> <li>(2) 定期的に自分たちで企画・運営をする誕生日会などの集会活動を開き、お互いの成長を喜び合うと共に、仲間意識を深めるようにする。</li> <li>(3) 「夏祭り」や「マラソン大会」などの地域行事に進んで参加し、学習の成果を多くの方に理解してもらう。</li> <li>(4) Y-P アセスメントをもとに教育支援計画を立て、個々の自尊感情を高められるような学習設定を工夫する。</li> <li>(5) レインボー給食やカレンダーのプレゼントなどで望ましい他者との関わり方を身に付けるようにする。</li> </ol>	

<p>(6) YICA で特にあいさつのやりとりを大切にしながら、異文化への理解と親しみをもつ。</p> <p>(7) 読み聞かせを通して感想を交流し、互いの気づきを受容し合い豊かな情操を育む。</p> <p>(8) 栽培活動を通して、自然の大切さや自然への感謝の気持ちを醸成するとともに、収穫した作物を使って調理したものを食してもらい、家庭や学校内の方々とより良い関係を築く。</p>
<p>音楽科</p> <p>豊かな感性や情操の育成</p> <p>音楽は、自己の思いや気持ち、感情を音や音楽を通して表出し、他の人間に伝達するという特性をもっている。このような特性を基盤に置き、自らを想像的に表現する力、美しさに感動する心、他と共感する心を培い、豊かな感情を育てるように指導の工夫を図る。</p> <p>〈音楽朝会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のねらいを考えて全校児童が歌いやすい楽曲を選曲し、全校児童の声を響かせ合うことで歌を歌うことのよさを感じ取ることができるようにする。</li> </ul>
<p>家庭科</p> <p>体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作や調理などの実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して、実感を伴って理解する学習を工夫する。また、学習の中で習得した知識や技能を、実生活に生かせるよう実践を踏まえた学習活動を設定する。</li> </ul> <p>豊かな感性や情操の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活と照らし合わせて学習を進め、児童の生活体験や発想を生かし、家庭生活の中の課題を解決する能力や家庭生活の大切さ、家族を思う心情を育てる。</li> </ul>
<p>算数少人数</p> <p>自分の考えや気づきを伝える機会を意図的に取り入れ、そこでの姿を重視する。自分や仲間が数学的に表現・処理したことを振り返り、そこにあるよさや違いを見だし、伝え合うことで、自分とは異なる考え方を受けとめたり、それぞれの中にある長所・短所に目を向けたり、表面上（発声・書字・話型等）だけでは分からない相手の「伝えたいこと」を受け取ろうとしたりする姿勢を培えるようにする。</p>
<p>保健</p> <p>けがOプロジェクトによる児童主体の豊かな心作りの活性化</p> <p>〈保健集会及びその後の代表委員会〉</p> <p>第1回学校保健委員会の内容を児童保健委員会が劇にして全校に伝える。保健集会劇を見た後にクラスの取り組みを考える。その後に行われる代表委員会では、全校での取り組みについて各委員会が協力できる活動を考え、10月の委員会で各委員会の取り組みを決定する。</p> <p>〈緑園子ども会議（第2回学校保健委員会）〉</p> <p>けがOプロジェクトの振り返りから、人権週間の取り組みにつなげていく活動について話し合い、運営委員会と連携して進めていく。</p>
<p>給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○けがOプロジェクトを核として、学校保健委員会の内容を給食とからめて、健康な体づくりから健康な心づくりができるようにする。</li> <li>○日本の伝統食である和食のよさや行事食を、給食を通して知らせ、日本の伝統・文化が感じられるようにする。</li> <li>○外国の料理を取り入れ、異文化への理解が深められるようにする。</li> </ul>